

平成25年度豊岡市予算(案)がまとまりました
 ~危機に立ち向かい、「小さな世界都市」に向けて、果敢に、大胆に、挑戦を続ける~

12会計 総額で772億円

皆さんが納める税金や国・県からの補助金などが、まちづくりのためにどのように活用されるのかを紹介します。
 《問合せ》財政課 ☎21-9014

予算の概要

一般会計は

457億1113万円

平成25年度の予算(表1参照)は、一般、特別、企業会計を合わせた12会計の総額が772億2209万円、前年度と比べ3・8%減となりました。このうち、一般会計の予算額は、457億1113万円、前年度と比べ7・2%減となっております。

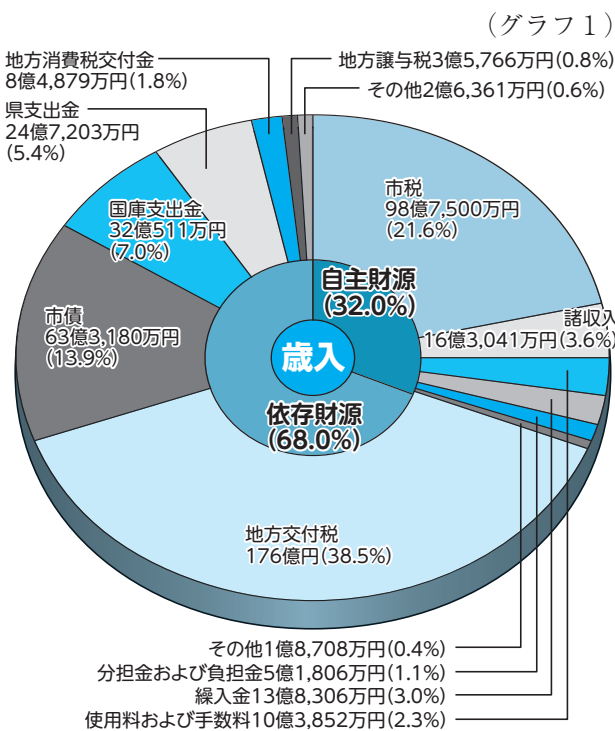
国の緊急経済対策により、3月補正予算に前倒しした分を合わせた実質的予算総額は、789億4620万円、対前年度比1・7%減となります。

平成25年度は、限りある貴重な財源を総合計画に定める五つの分野の実現につながるよう予算付けを行い、「大交流の実現」と「四つの危機に立ち向かう」ための戦略を展開し、人口減少下における経済の活性化を目指します。



なお、行政改革の実施で、定員適正化の見直しなどにより、約6億2472万円の効果額を見込んでいます。

一般会計・目的別予算の内訳(歳入)



会計別予算一覧

(表1)

区分	予算額	前年度比
一般会計	457億1,113万円	△7.2%
特別会計	187億7,764万円	+1.8%
国民健康保険事業(事業勘定)	93億6,601万円	+1.4%
国民健康保険事業(直診勘定)	8,900万円	+10.2%
後期高齢者医療事業	9億7,390万円	+2.7%
介護保険事業	80億2,035万円	+2.5%
診療所事業	2億5,990万円	△2.4%
霊苑事業	4,772万円	△14.3%
宅地事業	1,752万円	△46.2%
管理会財産区	324万円	△6.2%
企業会計	127億3,332万円	+0.9%
水道事業	37億9,817万円	△13.1%
下水道事業	87億7,286万円	+8.6%
農業共済事業	1億6,229万円	△4.9%
合計	772億2,209万円	△3.8%

基金残高は154億円
 平成25年度末の基金の残高(表3参照)は、財政調整基金

市債残高 (表2)

会計	市債残高
一般	648億円
特別	4億円
企業	696億円
合計	1,348億円
市民1人当たり	154万円

(平成25年度末見込み)

市債残高は1348億円
 市債(借入金)は、市民生活の向上のための施設整備(道路・学校などの整備)に活用します。また、市債には、将来的に施設を利用する市民の方にも返済を負担してもらうという、世代間の公平を図る大切な役割があります。
 平成25年度末の市債残高(表2参照)は、一般会計分が約648億円、前年度と比べ0・2%増となる見込みです。これに特別・企業の全ての会計を合わせた市債残高は、1348億円、前年度と比べ1・5%減となる見込みで、市民1人当たり(平成25年2月1日現在人口8万7345人)にすると約154万円になります。

基金残高	
(表3)	
基金	基金残高
財政調整	53億円
特定目的	90億円
定額運用	4億円
特別会計	7億円
合計	154億円
市民1人当たり	17万7千円

(平成25年度末見込み)

一般会計・歳入

市税は1・5%増
地方交付税も1・7%増

一般会計の財政構造は、他からの依存財源である地方交付税、国県支出金、市債などが歳入の68・0%を占める極めて脆弱なものとなっています。中でも一般会計の歳入の内訳(グラフ1参照)で、最も大きな割合を占める地方交付税(どの自治体でも必要最小限の住民サービスが提供できる)ように国が交付するお金は、176億円で、全体の38・5%を占めており、前年度と比べ1・7%増となっています。自主財源の柱である市税

など全ての基金を合わせると、154億3434万円、前年度と比べ5・1%減となる見込みで、市民1人当たりになると約17万7千円になります。

は、98億7500万円、歳入全体の21・6%を占めています。市町村たばこ税の県からの一部移譲や、入湯税の増収予想などにより、前年度と比べ1・5%増となっています。また、施設整備などのため借り入れる市債を63億円見込んでいますが、前年度と比べ36・4%の大幅減となっています。これは、新庁舎建設や但馬空港周辺整備など大規模事業に一通りめどが付いたためです。



一般会計・歳出

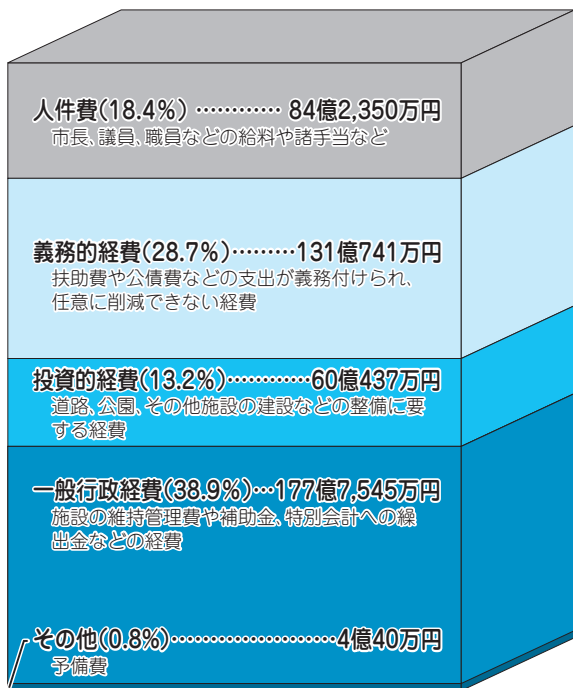
民生費に

110億1564万円

一般会計の歳出の内訳(グラフ2参照)で最も多いものは、市民の皆さんの福祉の充実などに充てる民生費で、110億1564万円、全体の24・1%を占めています。次に借金返済に充てる公債費が71億8424万円で15・7%、総務費が58億3426万円で12・8%と、高い数値で続いています。このうち、「豊岡エコバレー」と「大交流」、そしてそれらを支

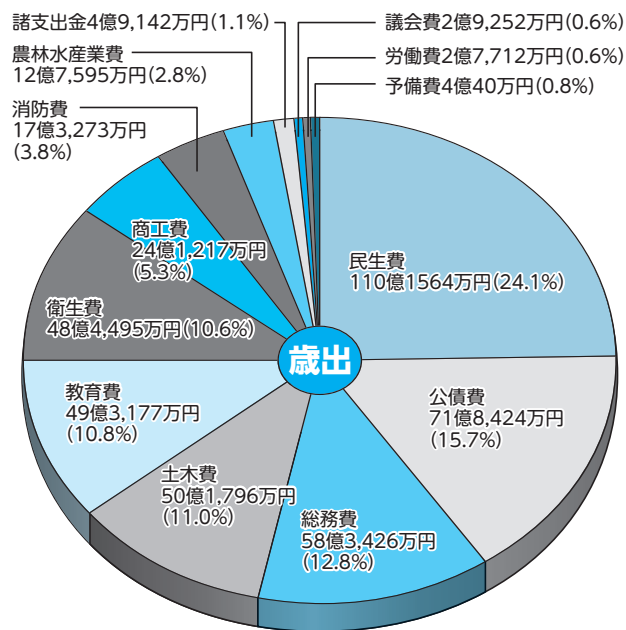
一般会計・歳出の性質別内訳

(グラフ3)



一般会計・目的別予算の内訳(歳出)

(グラフ2)



える戦略に関する予算は、21億9513万円になっています。歳出を性質別に見てみると(グラフ3参照)、人件費は84億2350万円、前年度と比べ3・7%減となっています。義務的経費は、131億741万7千円、前年度と比べ0・1%減となっています。また、投資的経費は60億437万円、前年度と比べ39・5%減を見込んでいますが、これは、新庁舎建設や但馬空港周辺整備などのめどが付いたことが大きな要因です。

なお、平成25年度の経常収支比率(注1)は90・0%を見込んでいます。また、財政の健全度を示す実質公債費比率(注2)は17・9%となり、国の定める水準の18%を下回ると予測されています。

※注1：経常収支比率
経常的に支出する経費に対する税などの一般財源の充当比率で財政の弾力性を示す指標

※注2：実質公債費比率
財政規模に対する公債費の割合を示す指標で連結決算の考え方を導入している。

